

令和2年度文部科学省委託事業
「専修学校グローバル化対応推進支援事業」
留学生に関する実態把握アンケート調査報告書

留学生対象

令和2年9月調査

一般社団法人大阪府専修学校各種学校連合会

一般社団法人大阪府専修学校各種学校連合会(以下、大専各)は、これまで「専修学校版グローバル化対応推進支援事業」において、広報事業と研修・交流事業という2つの柱のもと「地域における留学生の受入れのモデルケースを構築する」という目的にむかって取り組んできました。

ここ近年、留学生の受入れ数は順調に増加しており、卒業後の就職など進路面でも多数の事例を挙げるができていました。しかし2020年、世界はコロナ禍にみまわれ、日本へ、大阪への留学生は、就学どころか来日・帰国すらままならない状況にあります。ようやく入国規制緩和が始まるかと思えば、欧州での感染再燃にともない、再び予断を許さない状態です。

そういった状況において我々教育機関が行うべきことは、コロナ終息後あるいはwithコロナ時代に、留学生の受入れから教育、そして進路・就職といった入口から出口までのサポートをいかに進化させ、より日本の職業教育がグローバルに関心・認知されていくべきかだと考えます。このようなことは専修学校だけではなかなか体系化することは難しいですが、大専各という団体活動を通して成果に結びつけていくことが可能です。

今年度より有効な施策立案のために、まず専修学校、留学生、日本語教育機関、企業といった「ステークホルダー」の実態を定量的・定性的に把握する「実態把握事業」を実施しました。本報告書はその一環として、企業向けに実施したアンケート調査の結果をまとめたものです。各教育機関がコロナ禍対応で試行錯誤しているなか、留学生本人はどのような不安や不便を感じているのか、その現実と、課題、解決へのヒントが垣間見えます。これからの皆さまの施策立案の基礎としてお役立ていただければ幸いです。

一般社団法人大阪府専修学校各種学校連合会
留学生委員会
委員長 山下 裕貴

◇調査方法

調査対象:近畿エリアの外国人留学生

①大専各会員校在籍留学生

②(株)アクセスネクステージ「アクセス日本留学」登録学生(日本語教育機関在籍)

※滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山在住/2021年3月～2022年3月卒

調査方法:インターネット調査(アンケート)

調査期間:2020年9月14日(月)～9月30日(水)

回答者数:996件

◇INDEX

P01	はじめに
P02	< 1 調査概要／INDEX >
P03	< 2 回答者属性 >
P05	< 3 本調査 >
P05	3-1 日本留学の目的
P06	3-2 関西エリアへの進学を目指した理由
P07	3-3 現在の在籍機関の選択理由
P08	3-4 「オンライン授業」の実施状況
P10	3-5 現在の生活について
P10	3-6 留学生が求めるサポート制度
P11	3-7 今後の将来像
P12	3-8 帰国を選択している留学生に関する調査
P12	3-9 留学生活に関する思い
P18	まとめ

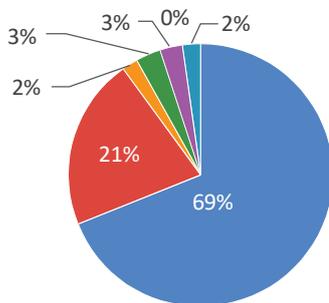
2 回答者属性

国籍および性別

出身国・または地域	女性	男性	無回答	総計	割合
a.中国	60	90	1	151	15.3%
b.ベトナム	357	276	1	634	64.3%
c.ネパール	13	29		42	4.3%
d.韓国	6	19		25	2.5%
e.台湾	20	27		47	4.8%
f.スリランカ	4	9		13	1.3%
g.インドネシア	13	7		20	2.0%
h.ミャンマー	7	4		11	1.1%
i.タイ	2			2	0.2%
j.バングラディシュ		4		4	0.4%
アメリカ		1		1	0.1%
ウズベキスタン		1		1	0.1%
カンボジア	1			1	0.1%
キルギス		1		1	0.1%
コロンビア人		1		1	0.1%
スウェーデン		1		1	0.1%
パキスタン		1		1	0.1%
フィリピン	4			4	0.4%
ブータン	1			1	0.1%
ポリビア	1			1	0.1%
マレーシア	3	1		4	0.4%
モンゴル	1			1	0.1%
ラオス	4	2		6	0.6%
ロシア		1		1	0.1%
香港	3	4	2	9	0.9%
日本	1	2		3	0.3%
総計	501	481	4	986	100.0%

◇出身国・または地域での最終学歴

968件の回答



現在在籍している学校の場所×学校種別

988件の回答

学校の場所	現在在籍している学校種別				総計
	a.専門学校	b.大学・短期大学	c.日本語学校	就職	
a.大阪	875	4	91	3	973
b.京都	1		10		11
c.兵庫			3		3
d.奈良	1				1
総計	877	4	104	3	988

2 回答者属性

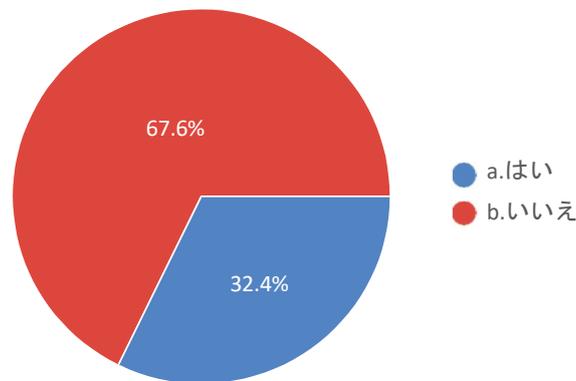
現在在籍している学校の種別×進学希望先

835件の回答

進学希望先	現在在籍している学校の種別			総計
	a.専門学校	b.大学・短期大学	c.日本語学校	
a.専門学校	245		47	292
b.大学院	49		15	64
c.大学・短期大学	130	2	21	153
d.専門職大学・専門職短期大学	43		1	44
その他	8			8
なし	21	1		22
帰国	9		1	10
結婚	1			1
就職	221		12	233
進学しない	1			1
日本語学校	3			3
未定	4			4
総計	735	3	97	835

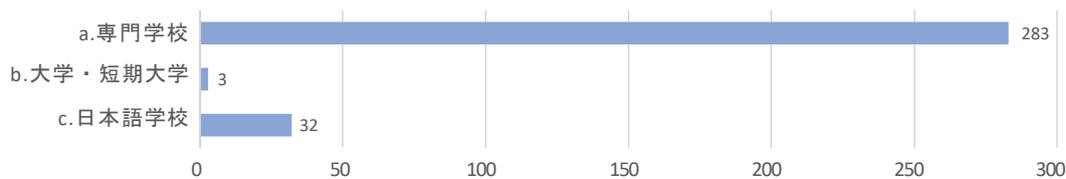
◇大専各「留学生委員会」が、留学生向けホームページの開設などの活動をしていることを知っていましたか？

993件の回答



◇大専各「留学生委員会」が、留学生向けホームページの開設などの活動をしていることを知っていましたか？に「はい」と回答した留学生の内訳

318件の回答



3-1 日本留学の目的

日本留学の目的は「c. 将来、大学や専門学校を卒業したあとに、日本国内または日本の企業で働きたいから」が最多。現在所属の学校種別に関わらず、いずれも半数以上の学生が回答をした。

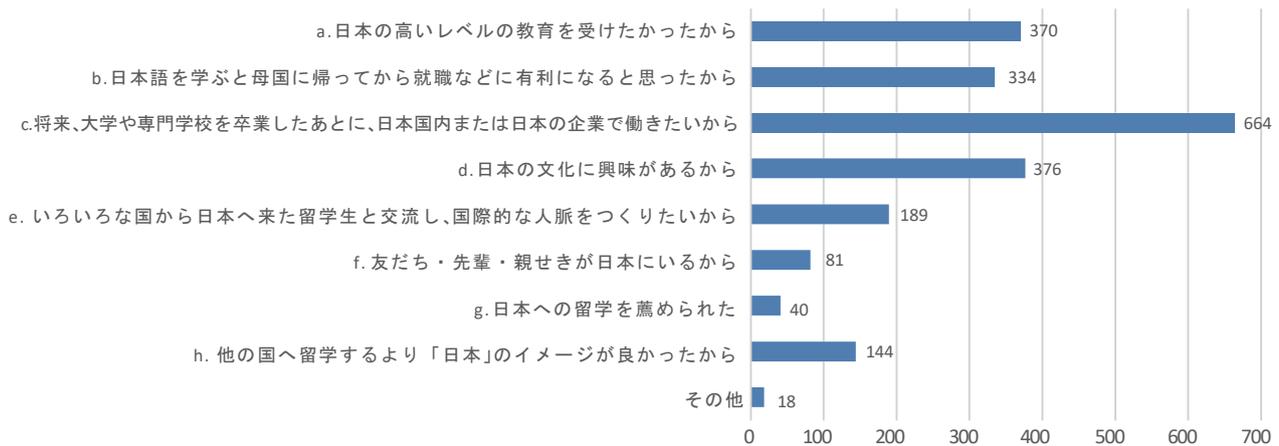
特に、専門学校在籍の学生の回答率が高く67.3%となった。

次いで多い「d. 日本文化に興味があるから」は専門学校と日本語学校に在籍の学生に多い。属性調査内「現在在籍している学校の種別×進学希望先」より現在、専門学校に在籍の学生がさらに専門学校や大学を目指していることから、まずは日本に住み生活をはじめながら、将来に向けての準備を行っていく様子が見られる。

対して「a. 日本の高いレベルの教育を受けたかったから」と回答したのは大学・短期大学在籍者が多く、専門学校の回答者と比べて12.5ポイントの差が見られた。

◇1. なぜ、あなたは「日本」に留学しましたか(もっともあてはまる理由を3つ選んでください)

992件の回答



現在在籍している学校の種別×日本留学の理由

992件の回答

(表組上段は回答数・下段は学校種別ごとの回答率)

理由	a. 専門学校		b. 大学・短期大学		c. 日本語学校		就職		無回答	
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
a. 日本の高いレベルの教育を受けたかったから	329	37.5%	2	50.0%	33	31.7%	3	100.0%	3	75.0%
b. 日本語を学ぶと母国に帰ってから就職などに有利になると思ったから	287	32.7%	1	25.0%	40	38.5%	3	100.0%	3	75.0%
c. 将来、大学や専門学校を卒業したあとに、日本国内または日本の企業で働きたいから	590	67.3%	2	50.0%	65	62.5%	3	100.0%	4	100.0%
d. 日本の文化に興味があるから	332	37.9%	1	25.0%	42	40.4%	0	0.0%	1	25.0%
e. いろいろな国から日本へ来た留学生と交流し、国際的な人脈をつくりたいから	164	18.7%	0	0.0%	24	23.1%	0	0.0%	1	25.0%
f. 友だち・先輩・親せきが日本にいるから	66	7.5%	0	0.0%	15	14.4%	0	0.0%	0	0.0%
g. 日本への留学を薦められた	39	4.4%	0	0.0%	1	1.0%	0	0.0%	0	0.0%
h. 他の国へ留学するより「日本」のイメージが良かったから	129	14.7%	0	0.0%	15	14.4%	0	0.0%	0	0.0%
その他	17	1.9%	0	0.0%	1	1.0%	0	0.0%	0	0.0%

3-2 関西エリアへの進学を目指した理由

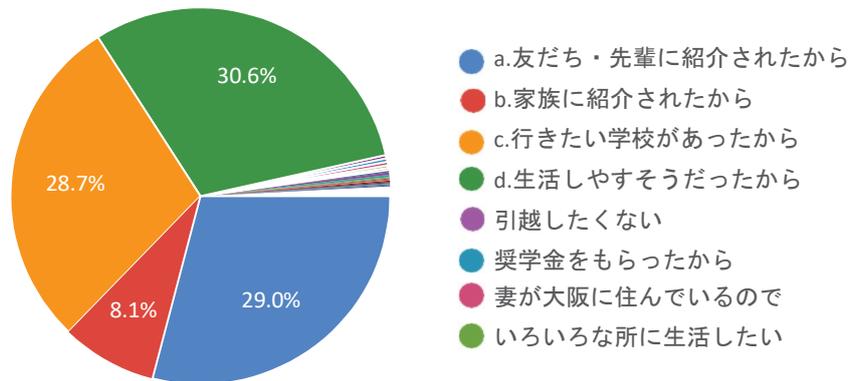
関西エリアを選んだ理由としては、「a. 友達に紹介されたから (29.0%)」「c. 行きたい学校があったから (28.7%)」「d. 生活しやすそうだったから (30.6%)」とほぼ均等に回答が分かれた。

EIU (エコノミスト・インテリジェンス・ユニット) による調査「Global Liveability Index 2019」で大阪が住みやすい都市のトップ10にランキングしていることから、渡日前の認知段階が都市選択に影響を与えている可能性が考えられる。

選択肢以外の回答としては、奨学金や家族が住んでいることなどが理由として挙げられた。

◇2. なぜ、日本の中で、この地域(大阪・京都・兵庫・奈良・和歌山・滋賀)に留学することを選びましたか?

991件の回答



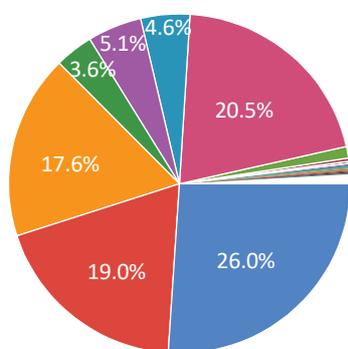
3-3 現在の在籍機関の選択理由

「b. 友だち・先輩・家族に紹介されたから」が最も多く26.0%。「g. 卒業後の就職や進路の実績が多いから（20.5%）」「b. 学校のパンフレットやホームページを見て、良いと思ったから（19.0%）」「c. 学べる内容やカリキュラムが、自分に合っていると思ったから（17.6%）」が続いた。

「b. 友だち・先輩・家族に紹介されたから」は、いずれの学校種別でも同様に25%以上が回答。4人に1人は紹介をきっかけに進路決定をしていたことがわかった。特に、日本語学校に所属している学生は27.9%と最も高く、大学・短期大学在籍者と2.9ポイントの差があった。

◇3. なぜ、今行っている学校を選びましたか？

983件の回答



- a. 友だち・先輩・家族に紹介されたから
- b. 学校のパンフレットやホームページを見て、良いと思ったから
- c. 学べる内容やカリキュラムが、自分に合っていると思ったから
- d. 学費が安いから
- e. 場所が便利だから
- f. いろいろなサポートがありそうだから
- g. 卒業後の就職や進路の実績が多いから
- h. 留学生が多いから

現在の学校を選択した理由 × 現在在籍している学校の種別

なぜ、今行っている学校を選びましたか？	現在在籍している学校の種別					総計
	a. 専門学校	b. 大学・短期大学	c. 日本語学校	就職	(空白)	
a. 友だち・先輩・家族に紹介されたから	220 25.3%	1 25.0%	29 27.9%	3 100.0%	1 33.3%	254 25.8%
b. 学校のパンフレットやホームページを見て、良いと思ったから	169 19.4%	1 25.0%	16 15.4%	-	1 33.3%	187 19.0%
c. 学べる内容やカリキュラムが、自分に合っていると思ったから	156 18.0%	1 25.0%	15 14.4%	-	1 33.3%	173 17.6%
d. 学費が安いから	31 3.6%	-	5 4.8%	-	-	36 3.7%
e. 場所が便利だから	39 4.5%	-	12 11.5%	-	-	51 5.2%
f. いろいろなサポートがありそうだから	42 4.8%	-	3 2.9%	-	-	45 4.6%
g. 卒業後の就職や進路の実績が多いから	183 21.1%	1 25.0%	19 18.3%	-	-	203 20.7%
h. 留学生が多いから	11 1.3%	-	-	-	-	11 1.1%
その他	18 0.0%	-	5 4.8%	-	-	23 2.3%
総計	869	4	104	3	3	983

3-4 「オンライン授業」の実施状況

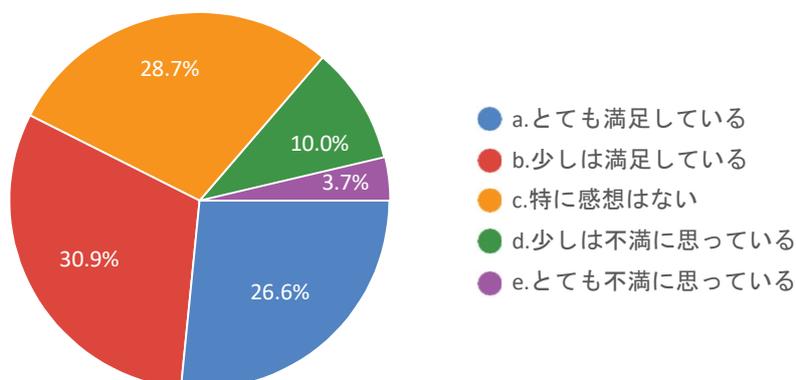
新型コロナウイルス感染拡大に伴い多くの学校で導入されたオンライン授業に関する調査を実施した。オンライン授業の満足度については、「a. とても満足している（26.6%）」「b. 少しは満足している（30.9%）」と半数以上がオンライン授業に満足をしていると回答をした。

しかし、オンライン授業に満足している一方で不満な点について質問をしたところ、「b. 先生とコミュニケーションがとりにくい（直接対面ではないので、不便）（39.2%）」「a. パソコンと通信の環境が整っていない（映像や音声途切れてしまう、など）（30.5%）」などが挙げられた。

学校の種別ごとに見ていくと、多くの学校で実習を伴う専門学校在籍者で「d. 授業の内容が不満」という回答が5.6%あった。

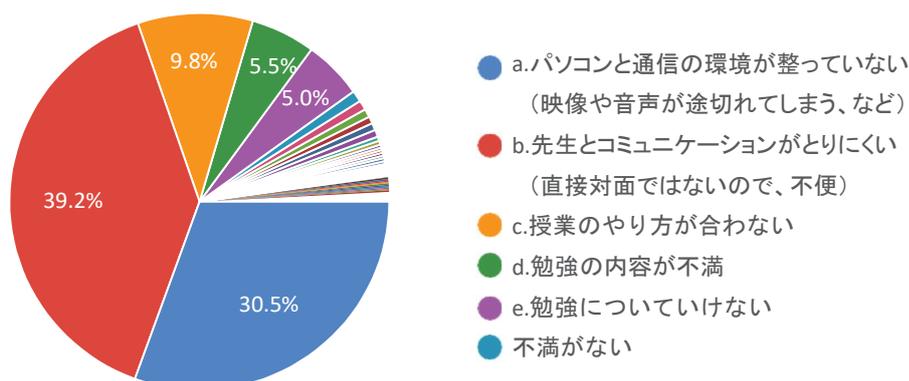
◇4. 学校の「オンライン授業」にどれくらい満足していますか？

911件の回答



◇5. オンライン授業で不満な点を教えてください

832件の回答



3 本調査



オンライン授業で不満な点 × 現在在籍している学校の種別

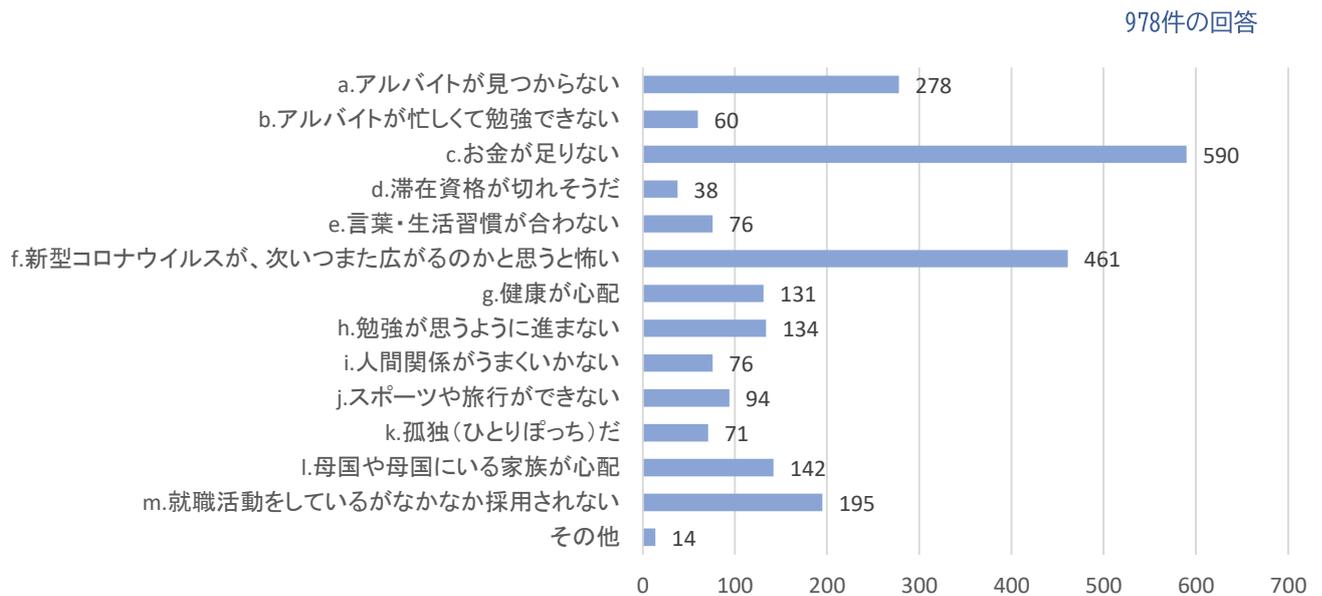
829件の回答

個数 / 5. オンライン授業で不満な点を教えてください	a. 専門学校		b. 大学・短期大学		c. 日本語学校		就職		(空白)		総計
	個数	割合	個数	割合	個数	割合	個数	割合	個数	割合	
a. パソコンと通信の環境が整っていない(映像や音声が届いていない、など)	225	30.9%	1	25.0%	25	26.6%	-	-	1	25.0%	252
b. 先生とコミュニケーションがとりにくい(直接対面ではないので、不便)	275	37.8%	2	50.0%	47	50.0%	-	-	1	25.0%	325
c. 授業のやり方が合わない	71	9.8%		0.0%	9	9.6%	-	-	1	25.0%	81
d. 勉強の内容が不満	41	5.6%		0.0%	4	4.3%	-	-	1	25.0%	46
e. 勉強についていけない	34	4.7%	1	25.0%	7	7.4%	-	-	-	-	42
オンライン授業はない	9	1.2%		0.0%		0.0%	-	-	-	-	9
なし	28	3.9%		0.0%	1	1.1%	-	-	-	-	28
不満はない	27	3.7%		0.0%		0.0%	-	-	-	-	27
(空白)		0.0%		0.0%		0.0%	-	-	-	-	
その他	17	2.3%		0.0%	1	1.1%	-	-	-	-	18
総計	727	100.0%	4	100.0%	94	100.0%	-	-	4	100.0%	829

3-5 現在の生活について

現在困っていることとしては、「c. お金が足りない」が最も多く回答数590（60.5%）、次いで「進学コロナウイルスが、次いつまた広がるかと思うと怖い」が461（47.2%）だった。「a. アルバイトが見つからない」が278（28.4%）という回答も高く、金銭面で困難を感じている留学生が多いことがわかる。

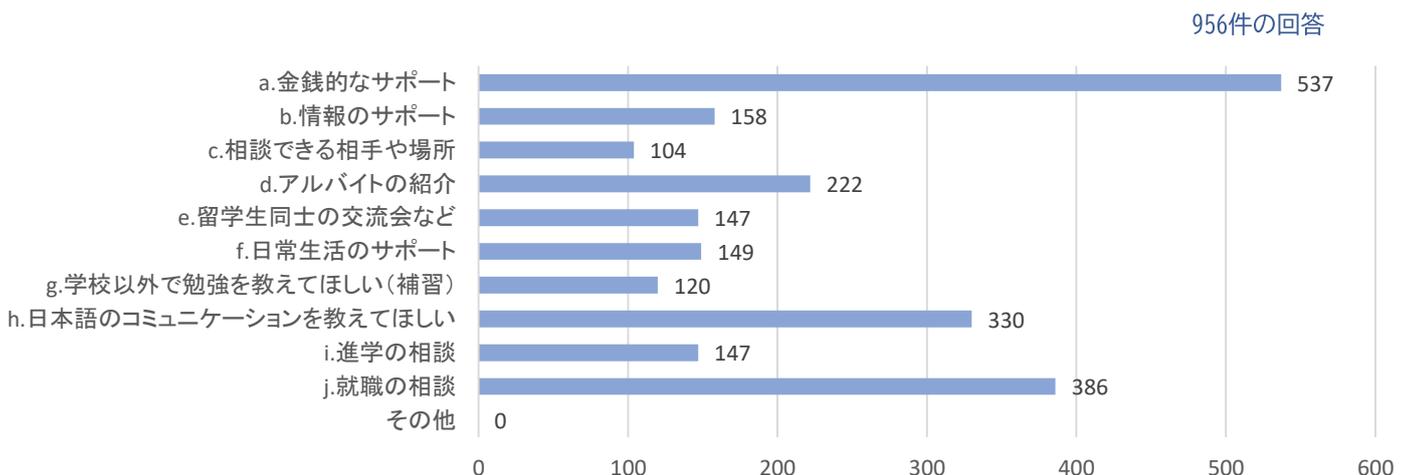
◇6. 今とても困っていることは何ですか？（もっともあてはまる理由を3つ選んでください）



3-6 留学生が求めるサポート制度

前問の回答同様に、「a. 金銭的なサポート」を求める留学生が最も多く、半数以上の56.2%が回答をした。「j. 就職の相談」「h. 日本語のコミュニケーションを教えてほしい」と回答したのも多く、新型コロナウイルスの影響で一時的に採用状況が悪化したことや、オンライン授業が始まり対面の授業が減ったことに関連している可能性がある。

◇7. 今、どんなサポートが必要ですか？（もっともあてはまる理由を3つ選んでください）

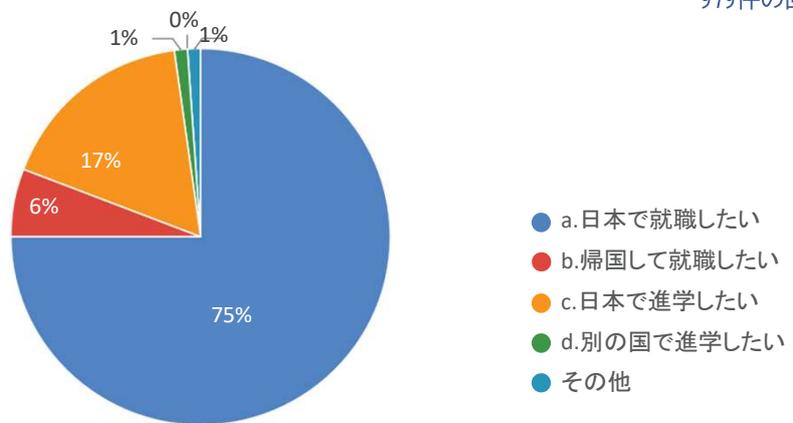


3-7 今後の将来像

留学生が描く将来のイメージは、「これからの目標は何ですか?」「将来の希望は何ですか? (もっともあてはまる理由を3つ選んでください)」いずれの質問の回答においても、日本留学の目的同様に「日本で働きたい」という回答が最も多かった。

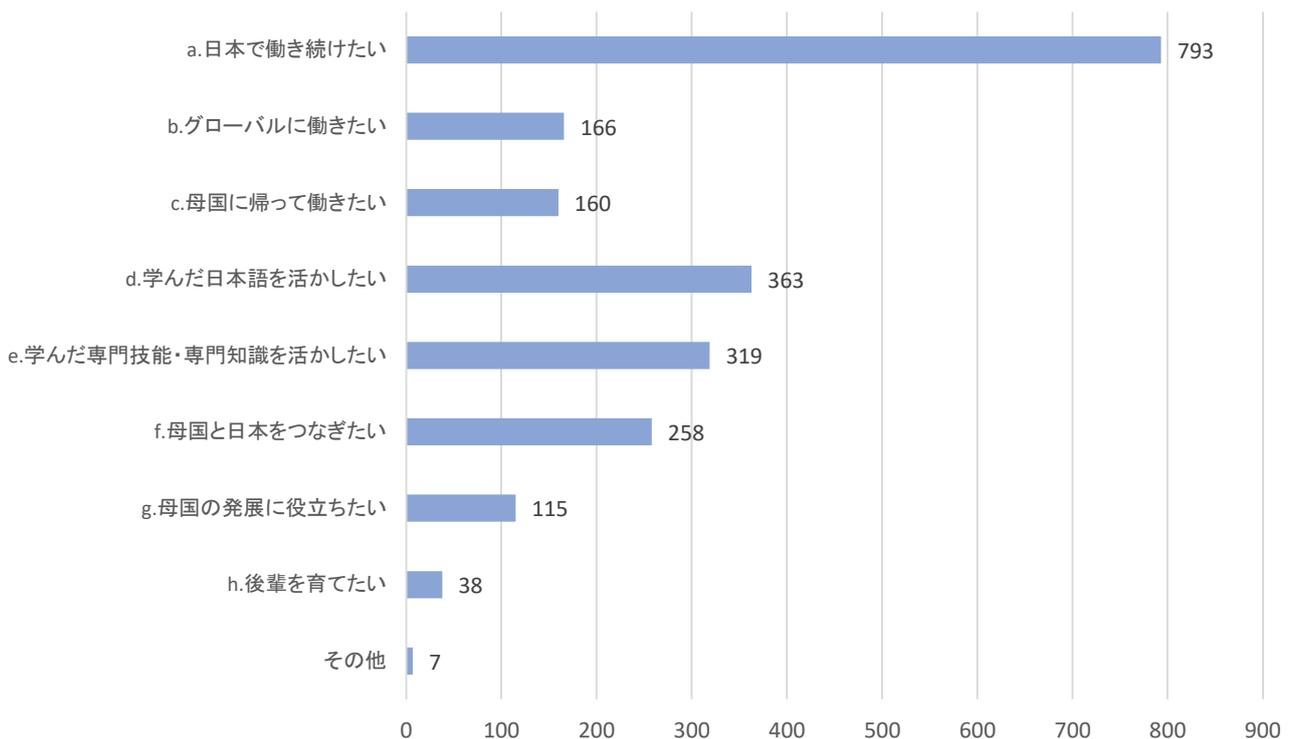
◇8. これからの目標は何ですか?

979件の回答



◇9. 将来の希望は何ですか? (もっともあてはまる理由を3つ選んでください)

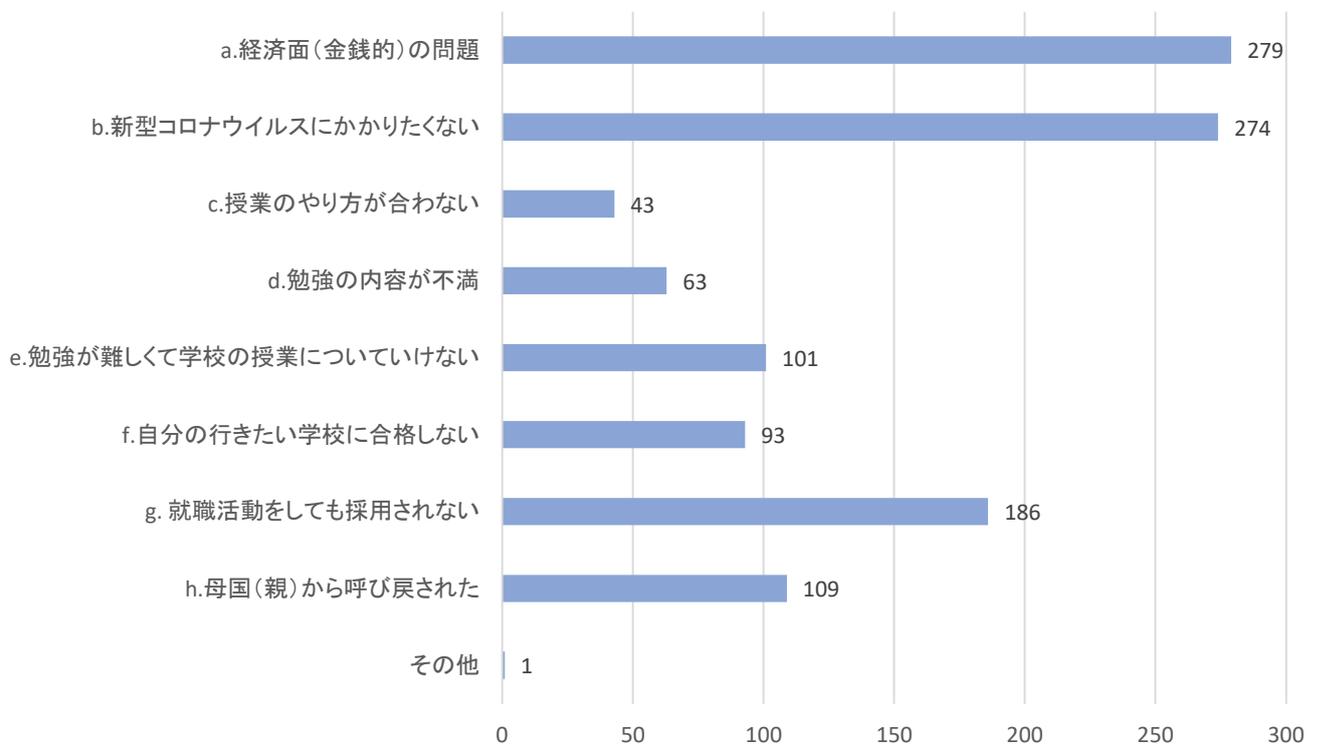
979件の回答



3-8 帰国を選択している留学生に関する調査

帰国を検討している学生の中断の理由は「a. 経済面(金銭面)の問題」、「b. 新型コロナウイルスにかかりたくない」がいずれも半数以上の回答となり、新型コロナウイルスは、留学の継続にも何かしらの影響を与えていることがわかった。

◇留学を途中でやめて帰国を考えている人へ質問です。その一番大きな理由は何ですか？
 (もっともあてはまる理由を3つ選んでください) 518件の回答



3-9 留學生活に関する思い

◇11. 留學生活を送っていて、伝えておきたいことや期待することなどを、自由に書いてください。（特に思いつかない人は、書かなくてもいいです）

- ・好きの大学探したいです
- ・日本で日本料理を勉強していつか優れた料理人になったら、台湾人に日本料理の美しさを伝えたいです。
- ・学費は分けて欲しいです。今アルバイトしないから、学費に心配しています
- ・今の専門学校で学んだ知識と合わせる仕事を見つけたいです！
- ・もっと日本語が上手になること
- ・大学を卒業して日本に就職する
- ・今年の3月の末ごろ、たくさん不幸のことが起こったせいで(爺ちゃんや曾祖母がなり、何回も大学に落ち、バイトもやめ、。。。)自殺すると思ったけど、。。。ストレスが解消できないし、自信もなくなるし、寝られなかった。
- ・経済的に手伝い
- ・学費減らすこと
- ・同好会をやってもらいたい
- ・頑張る
- ・学費が下げてください。お願いします
- ・もっと学校の情報と就職関係を紹介してください。
- ・学費が減らして欲しい
- ・留學の方は我慢できて頑張ってください
- ・最近就職活動とても大変だし、バイトもないし。それで送ります
- ・お金ねほしい
- ・お金が欲しいです
- ・コロナの影響でアルバイト出来なくて、お金もないので、生活や学費の払う事が出来ない。
- ・学費が減らして欲しい
- ・今の時代はお金のことにとても大変つらいです。
- ・日本語一番大切
- ・頑張ってください
- ・学費と生活費安くなってほしいと祈っています。
- ・絶対に成功になるだ
- ・後の仕事に役立つ多くの知識を身につける
- ・新型コロナウイルスに負けないで、がんばりましょう。。。。
- ・生活は大変になって
- ・1週間に28時間だけアルバイトできるので、生活が大変だ。
- ・コロナの影響で、バイトが無くなって、生活がとても困っています！やはりお金は今大きな問題です！金銭的に助けて頂けば、とても良かったなあと思います！

- ・皆んな、3年間で頑張っ欲しい。。
- ・本当に忙しくていろいろなことが困っているのですが将来のため頑張っている
- ・資格を取るサポートがほしい
- ・いいです
- ・自分の日本語が上手になりたくて日本で就職して働きます。
- ・いつもお世話いただき、ありがとうございます。特にコロナの状況でもっとサポートしていただくと本当に助かります。宜しくお願いいたします。
- ・今、コロナウイルスの影響なので、自分と家族の生活を困っていて、学費を出せない状態です。
- ・日本が大好きでもっと面白いことを学びたい人はぜひ日本に来てください。人生は非常に難しくなり、あなたは成功するために一生懸命働かなければなりません。どんなに困難な事があっても諦めないで、未来の道で楽しみにしてください。
- ・学内での留学生交流があればいいと思います
- ・日本で就職出来るように頑張ります。
- ・同時にやらないとならない課題が多い
- ・日本が大好きでもっと面白いことを学びたい人はぜひ日本に来てください。人生は非常に難しくなり、あなたは成功するために一生懸命働かなければなりません。どんなに困難な事があっても諦めないで、未来の道で楽しみにしてください。
- ・いいです
- ・留学生の生活はとても大変です。勉強しながらバイトを働きます、最近コロナウイルスの影響のせいで、生活もっとも大変です。将来にいい仕事を探せます。
- ・学費を安くやってほしいです
- ・新型コロナウイルスの状況のせいで生活はとても大変です。アルバイトをしないし、お金もないし、なんでもできません。
- ・日本人と話せる機会をもっと増やしたいです。
- ・学費がもっと安くして欲しいです。
- ・留学の方は我慢できて頑張ってください
- ・頑張れ
- ・大学に進学の留学生と同じ程度のサポートが欲しいです。
- ・今大変です
- ・日本の物価はちょっと高いです。本当に勉強しに来ましたがお金の問題でうまくいけなかったです。学費と時給が高くしたら自宅で勉強する時間ができてちゃんと勉強できると思います “
- ・日本人の友達がほしいです
- ・日本語を早く上手になりたい！
- ・物価が減ってと思う
- ・もっと留学生向けの奨学金あればいいです！
- ・頑張ってください！

- ・今バイトも無いから日本語も弱くなって来ているからホテルにやるバイトしたい今コロナで生活も困っている学校費も払え無いから
 - ・お金ねほうしいい
 - ・いろいろなことが勉強できたのですごく嬉しいです
 - ・健康保険料や年金や税金や市民税等が下がって欲しいです。
 - ・ちゃんと勉強すれば勉強するほどいいです。
 - ・n2級整備士が取れるつもりである
 - ・新型コロナのせいでみんながいろいろなこまることに会いました。私が今お金がない、アルバイトが長く働けません。
 - ・はい、いいです。
 - ・生活はほっとしています
 - ・留学生活はいつも頑張っている気持ちで、どんなことでも困らずに進みやすくなってほしいです。専門学校を卒業した後、日本で就職できると祈っています。
 - ・なし
 - ・留学生たちに心配してくれて、ありがとうございました。生活面や勉強面はまだ色んな困ってることをはっきり言えないんです。その困ることや不満なことを毎日に重ねつつあると留学生たちがどんどん帰国して、留学の目的が忘れてしまう。人生の機会がなくなります。日本に行くために1-2年間ぐらいで日本語を勉強したはずです。来日してからにも日本語を勉強しないといけないんです。だから1から1年半日本語学校に通います。長い時間で日本語や日本の生活を勉強するけど、生活の困る、勉強や仕事の差別で不満であり、夢を辞めて帰国します。ホンマにもったいないんです。私の友達がこんな理由で全部自分の能力を捨てて、帰ってしまいました。だからお願いがあります。留学生たちの困ることや不満なことを分かってくれたいんです。
 - ・頑張るしかない
 - ・いつもお世話いただき、ありがとうございます。特にコロナの状況でもっとサポートしていただけると本当に助かります。宜しく願いいたします。
- 学費を安くやってほしいです
- ・N1を取りたいです、そして、就職したいです。
 - ・いつか自分が勉強したこと身につけるかな
 - ・経済的に手伝い
 - ・日本は日本語が大切ですから日本語を頑張ってください。
 - ・コロナの影響でアルバイト見つけなかつたまま、暮らしことが難しいし、学生支援金が欲しいのです！
 - ・生活費を補助したいんです。
 - ・日本で働きたいんですが、
 - ・何かがあっても頑張ってくださいね。あなたには明るい未来が待っていますよ。
 - ・もっと日本語を勉強しるだけ
- 日本へ来る前に一所懸命日本語を勉強した方がいい。
- ・留学生活のサポートが多くなって欲しいです

・留学する際、勉強することは1番大切なことです。アルバイトし過ぎて、お金を稼げるという考えを持っている人は留学前、きちんと考えてください。

- ・何かがあっても頑張ってくださいね。あなたには明るい未来が待っていますよ。
- ・留学の方は我慢できて頑張ってください
- ・生活費を補助したいんです。
- ・優秀な学生でも奨学金がとれないのは残念だと思っています。

私個人的なイメージにはIT業界はIT専攻の人しか就職できないですが、その理由はITについてはすごく難しくて厳しいことですから、学生時代から多量のコーディングと知識がないといいものを作り出せません。母国のIT業界ではIT専攻の人でも技術が高い人しかいません、しないと発展も難しいではないかと思っています…個人的な思いですが、今は日本の就活でプログラミングについての能力じゃなくて、文科系の人と一般的な方面で競争するのが少し困っています。

・私は安定な生活が好きです。コロナが世界を変えて、元々自分の将来が迷っていますのに、さらに迷ってしまいます。

- ・仕事が欲しい
- ・海外留学したい日本人方との交流会の情報欲しい
- ・学校に来て先生と皆さんに会いたくて情報の学習と生活について助けが欲しい
- ・どんなことにあっても、頑張ってください。
- ・日本の文化とかを習いたい、いろいろなところに行きたい、日本で就職できます。
- ・できれば、奨学金がほしいです。
- ・自分の気持ちを聞けますように
- ・留学行ってみて世界が広いから
- ・大学に入学したい
- ・留学のおかげで、私は多くのことを勉強して、成長になりました。
- ・学校を卒業後、日本で5年間ブエキをしてから、日本のfiで学んだ知識を持って帰国し、会社に応募したいと思っています。
- ・みんな！頑張る
- ・日本語を勉強しながらアルバイトもするのは大変ですから、頑張ってください。いくら大変でも、あきらめないで！
- ・面白い感じ
- ・日本の人や文化からもっと学びたいです。日本語でコミュニケーションが取れ、日本で働きたいです。
- ・学ぶことと教えることは祝福ですが、それだけでなく、学生がくせいとして高いたかい授業料が大きな課題であると感じています。学費を下がって欲しい。
- ・コロナの影響で生活が難しくなる
- ・頑張らしましょう。
- ・疲れました。楽になりたいです。
- ・不可能ということはありません、やってみれば何でも可能です。
- ・よく調べて、参考して、考えてください！

- ・典型的な偏見を投棄してもらってほしいです。
- ・お金の問題
- ・税金と健康保険が高いだから
- ・コロナのことが一番心配しているコロナがずっといたら何もできないと思っている
- ・お金が足りません、金銭的なサポートが欲しいです。
- ・お金
- ・簡単に手に入らないチャンスだからいろんなことに挑戦してみてください
- ・大学院に進学したいことです
- ・日本へ来たばかりのころなかなか日本語分からなくてとても困っていたんですけどども時間をかけて優しい先生達のおかげで大丈夫ようになりました。日本へ将来就職すると考える人達は日本語の勉強しっかりしてから専門的な勉強始めてください。

何かがあっても頑張ってくださいね。あなたには明るい未来が待っていますよ。

- ・自分の気持ちを聞けますように
- ・専門学校が専門に関わらない仕事に就職してもビザが取れるように
- ・大阪は特別な大都市ですね
- ・留学生の生活はとても大変です。勉強しながらバイトを働きます、最近コロナウイルスの影響のせいで、生活もっともっと大変です。将来にいい仕事を探せます。

ここに回答いただいた留学生は、コロナ禍の日本に残ったか、国際的なりモート環境のなかでも日本語を学んでいた「意欲と志」の高い人々だと推測できます。回答項目にもありますが、「日本で就職したい」「学んだ日本語、専門を活かしたい」と本気で願っています。そんな彼らが、いま困窮を極めています。

苦境を訴える声のほか、本調査において顕著だったのは、日本での語学学修・進学先選びにおいても、家族や友人・知人・先輩など、「周囲の人々の紹介」が大きな決め手になっていることです。

言い換えれば、彼らのコミュニティにおける評判やクチコミのパワーの大きさが再確認できます。すなわち、留学生にどれだけ真摯に向き合っているか、その評判が、いわゆる広報を凌ぐ可能性があります。

今後さらに関西エリアへの留学生を増やしていくためには、いま目の前で困っている留学生たちに手を差しのべ、多角的に支援すること。その満足度を少しでも高めることで次の留学生を呼び込むことにつなげる。そうした視点を重視したサステナブルな取り組みが求められているといえるでしょう。さらに中長期で考えると、留学中の生活支援はもとより、雇用促進も見据えた法的緩和やルールの簡素化など「学校と企業と行政が三位一体になり課題に取り組んでいく」、そうした活動を創り上げていくこと、行政に働きかけていくことの重要性を示唆しているといえるでしょう。

一般社団法人大阪府専修学校各種学校連合会
常任理事
留学生委員会
副委員長 上田 哲也

令和2年度文部科学省委託事業
「専修学校グローバル化対応推進支援事業」

留学生に関する実態把握アンケート調査報告書

発行日2020年10月第1版

受託一般社団法人大阪府専修学校各種学校連合会

編集一般社団法人大阪府専修学校各種学校連合会

(データ集計・分析株式会社アクセスネクステージ)

住所〒534-0026大阪市都島区網島町6-20大阪私学会館1F

TEL06-6352-0048fax06-6352-7553

大専各サイト <http://www.daisenkaku.or.jp/>

大専各留学生支援サイト <https://study-osaka.com/>